

岡山朝日高校同窓会 朝日 会報

第28号 2021年10月10日発行

特集 大講堂

ふるさと納税を利用して
母校を応援してみませんか！



現在の校地を北西より望む（ドローン空撮高度40m、2021年6月撮影）



左から、西教場、旧藩校の講堂、正門。洋池の欄干も見える。

講堂はいつも中心にあった

本校発祥の地は、かつて内山下小学校があった岡山城西ノ丸跡。創立翌年の明治8年（1875）には西中山下の藩校跡地に移った。（現北区蕃山町、岡山中央中学校が建っている）

左は、明治20年代の校舎と配置図。

明治29年（1896）、鳥城城郭内に新校舎が完成し、11月21日に落成式が行われ、この日が「本校記念日」（創立記念日）となった。

昭和11年（1936）開校した二女は、藩校跡地にあった岡山県女子師範学校内に設立された。

昭和20年（1945）6月29日の岡山大空襲により、鳥城天守閣とともに校舎は焼失。生徒達は石段（左下の写真中央下端）や、吉備津神社回廊、倉紡の青年学校、岡山市公会堂などを借りて授業を再開。翌年秋には焼け跡に校舎が再建された。

昭和23年（1948）の学制改革で、一中は一高に、二女は二女高になり、昭和24年（1949）の高校再編でこの二つが合併し、岡山朝日高等学校となった。

昭和25年（1950）、第六高等学校跡（現校地）を借用できることになり、まず3年生が移り、昭和28年（1953）には全学年が揃った……。



昭和11年撮影された校舎と配置図。中央本館の奥に講堂がある。